

【3地域共通意見・質問】

項目	ご意見・ご質問 (○:ご意見、Q:ご質問、→:熊谷市の考え方)
通学方法 (スクールバス)	<p>Qスクールバスは誰が利用できるのか。 →現在、男沼・太田・秦小学校に通学している子どもたちは全員スクールバスで通学することを考えています。</p> <p>Qスクールバスのバス停やルート等の運行方法はどうか。登下校時の地域住民による子どもの見守りはどうなるのか。 →統合時の児童の居住位置も踏まえながら、学校・保護者・住民の皆さんで検討し、いくつかの安全なバス停を決定してから、運行経路・時間が決まっていきます。そのバス停までは子どもたちは徒歩で集合するので、現在の地域の方々の見守り等を継続していただきたいと思います。</p> <p>Qスクールバスの利用料はいくらか。スクールバスは何台運行するのか。 →スクールバスは無料と考えています。小学校の始業時刻と子どもたちの人数に合わせて運行方法を検討するので、台数は未定です。</p>
新校の体操着	<p>Q新校での体操着はどうなるのか。 →保護者の負担を軽減するため、新校でもこれまで使用していた体操着を使用していただいで構いません。</p> <p>Q新校になって同じクラスでも、バラバラの体操着では統一感がないと思う。自分の子どもだけ、前の体操着を着ているというのも心配である。学校名が早く決まれば、新校の体操着が早く決まる可能性もあるのではないか。 →関係者の共通認識のもと、新校設立に向けた検討が早く進み、業者との調整により、新校の体操着等が早く決まる可能性はあると思います。</p>
通学区域の変更	<p>Q通学区域は変更にならないのか。統合前に、統合後の小学校へ入学できないか。 →統合までは男沼・太田・秦小学校に通ってもらうことが原則です。ただし、保護者の方が、お子様の様子を見て、在学途中での統合による環境の変化により、不登校や友達関係がつかれないなどの不安、心配がある場合、指定校変更の申請を教育委員会にいただければ、申請に基づいて協議します。 →子どもたちの不安を解消し、スムーズに統合するため、統合前から、子どもたちの事前交流や事前学習を実施していく予定です。</p>
人口減少対策	<p>○小学校が移転してしまうと若い人が住まなくなってしまう。人口増加を図る政策が必要である。 →若年層が定住・転入してもらえるような人口減少対策の取組を進めており、取組は継続していますが、少子化の現状・進行による教育環境の変化について、住民の方々との共通認識が必要と考えています。 →今後もさらに少子化が進行してしまうことが見込まれるので、子どもの教育環境を第一に考え、小学校の統合案を示しています。 →小学校と地域の関わりでは、小学校通学区域が広くなると考えていただくことはどうでしょうか。</p>
給食	<p>Q自校式給食から給食センターになぜ替えるのか。 →安心・安全(衛生管理、食物アレルギー対応、施設の老朽化対策)、公平性(全市的な食育の普及)、魅力ある給食(栄養バランス、地産地消、要望、保温性の高い食缶への対応)という理由から、現在の自校式給食を、新設する給食センターからの提供にしたいと考えています。</p>
小規模校	<p>○小規模校の良いところがある。 →小規模校の良いところは承知していますが、今後も見込まれる児童数減少に対して、教育環境を第一に考え、統合案を示しています。</p>
校区連絡会	<p>Q小学校の統合により、校区連絡会は統合するのか。 →これまでの校区連絡会の活動を継続していただきたいと考えています。現在、小学校と一緒に実施している事業は、取組方法の変更が生じるかもしれませんが、新校での行事やイベントとして、太田・男沼・妻沼南小の既存イベントと連携できるかなど、検討していくことになると思います。同じ小学校のエリアで、他地域からの人の呼び込みや連携などで地域活性化を図っていただきたいと思います。</p>

地域別	ご意見・ご感想 (○:ご意見、Q:ご質問、→:熊谷市の考え方)
男沼地域	○妻沼地区は南北で文化圏が違う。北部は男沼から善ヶ島にかけて同様な文化圏である。
	○学校は地域のバックアップで活力が維持される。地域文化との連携・融合で学力向上につながるという実績がある。地域文化を維持すべきである。
	→小学校の統合に際しては、小学校と地域の関係により、地域文化や伝統の維持・継承方法を、地域の方々に考えていただかなければならないと思っています。
	→校区連絡会の活動を維持していただき、地域の子どもたちの見守りやバックアップを継続していただきたいと思っています。
	→小学校のエリアが広がることで、担い手も増え、地域文化の継承につながると考えられます。
	○学校の適正規模の議論も必要だと思う。少人数学校だからできることはある。
	→男沼小は長い期間各学年が1クラスですが、現在把握している出生数でみると、今後ますます少子化が進行してしまい、複式学級も見込まれます。
	→子どもの教育環境を第一に考え、小学校の統合案を示しました。
	→新校としての統合に向けて、学校生活や地域連携など、様々な分野で決めなければならないことがあり、ある程度の準備期間が必要と考えています。
	○妻沼西中と妻沼東中の統合はやめるべきだという地域の声がある。
	○学校との連絡がまめに取れるような連絡システムがあると便利。スクールバスの登下校ダイヤ変更の連絡に利用できる。
	○放課後すぐにスクールバスで帰らないで、学校という安心な場所でみんなで遊べることもよいのではないかな。
	○中央エリアだけでなく、北部エリアにも児童館は必要である。
	→エリアごとに幅広い世代が集える生涯活動センターの整備を考えており、機能のひとつとして考えたいと思います。
	○男沼・太田・妻沼南小は、いっしょに林間学校に行っている。中学校もいっしょになるから抵抗は少ないと思う。
	→今後、新校として設立する前に、(仮称)新校設立検討委員会を設置して、学校名や校章、スクールバスの運行、PTA活動、学用品等いろいろなことを、学校、PTA、地域の皆様で決めていただくこととなります。
○資源回収等PTA活動でPTA役員の役割が重いと思う。	
→PTA役員の役割・決め方なども、これからみんなで決めていくこととなります。	
○この地域は買い物が不便で、交通手段もない。	
→登下校のスクールバスの利用時以外を地域循環バスとしての活用を検討しています。	
Q複式学級になってしまう児童数は何人か？	
→2学年を合わせて16人以下、1年生を含める場合は8人で複式学級となります。	
○PTA役員の割り振りが心配である。	
→(仮称)新校設立検討委員会を設置して、統合に向けて、学校名や校章、学用品、スクールバスの運行のほか、新たなPTA活動や役員体制なども決めていくこととなります。	
○少人数学校の良いところもあるが、固定化した行き詰まりを解決するために、クラス替えの必要性も感じる。	
→少人数学級は1人1人に目が行き届くなどの良い点も承知していますが、今後、多くの人とのコミュニケーションや考え方を理解する力が必要となってきます。	
→男沼小学校は長い期間、各学年が1クラスでしたが、今後さらに少子化の進行が見込まれるので、子どもの教育環境を第一に考え、小学校の統合案を示しました。	
○この地域には公園がない。校庭が遊び場となっている。	
→統合後の学校の活用は検討していきます。老朽化した校舎などは活用がなければ除却も想定しています。	
○男沼小学校がなくなるのならば他の地域へ引っ越そうと考えている。	

男沼地域	Q妻沼小学校を選択できないのか。 →統合までは男沼小学校に通ってもらうことが原則です。ただし、保護者の方が、お子様の様子を見て、在学途中での統合による環境の変化により、不登校や友達関係がつかれないなどの不安、心配がある場合、指定校変更の申請を教育委員会にいただければ、申請に基づいて協議します。 →学校のエリアは広がりますが、地域の子どもの育成も含め、これまでの地域活動を維持していただきたいと考えています。
	Q妻沼小学校との統合は考えているのか。 →今回、男沼・太田・妻沼南小学校の3校の統合で、適正な規模を進めていきたいと考えています。妻沼小学校は当面の間、各学年2クラスが想定されています。
	○自動車の交通量だけでなく、総合的に通学路の安全を考えてほしい。 →スクールバスの運行に当たって、学校や地域の皆様と検討していきたいと考えています。
	○アレルギー対策も含め、安全な給食の提供が必要と認識している。
	○母校がなくなるのは悲しいが、子どものことを考えると統合も仕方ないと思う。
	○妻沼地区で1校でもよいのではと思う。
	Q台地区の妻沼小学校への通学の検討はどうなったのか。 →男沼小学校から妻沼小学校へ行ってしまい、さらに児童数が減少してしまうことも考えられますので、原則、現状の通学区域とします。
	Q児童数の減少で、統合が早まることはあるのか。 →新校としての統合に向けて、検討事項が多くあるので、検討準備期間を考え2025年の統合を想定しています。
	Qもっと早く教えてほしかった。子どものための統合なのか。 →今後の少子化の進捗を踏まえ、昨年度「学校規模適正化の基本方針」を定めて、今年度統合案を示しました。
	○スクールバスでは感じられない徒歩通学の良いところもある。 →地域内にいくつかの安全なスクールバス乗降場所を設置しますので、自宅からそこまでは徒歩となります。
	Qこれは決定なのか。いつどのように決定するのか。 →まだ決定ではありません。統合に向けた準備が必要となることから、皆様の理解を得ながら統合に向けて検討・準備していきたいと考えています。進めていくに当たっては地域説明会で皆さんに説明していきます。
	Q統合後、男沼小学校の先生は妻沼南小学校へ赴任するのか。 →子どもたちが新しい環境で安心して学べるようにするためにも、教職員の配置については十分検討します。
	Q妻沼南小学校に副担任は配置されるのか。 →副担任は配置されません。
	Q統合した場合、男沼小学校の校舎は除却するのか。男沼地域の避難所はどうなるのか。 →先日の台風19号を受けて避難所のあり方を検討しています。校舎の活用がなければ、建物や設備が傷み、防犯上も課題となるので、速やかな除却を予定しています。
	Q給食センター方式になった場合、食育のため、学校への調理員の派遣はできるのか。 →栄養士等の派遣を検討しています。
	Qご飯の持参は継続するのか。 →今後検討します。
	○地元野菜の利用を推進するためには、野菜の規格を厳密にしない方がよい。
	○給食の調理方式に違いがあるのはおかしい。給食の方向性は良いと思う。
	○給食は美味しければ良い。

太田地域	<p>Qプールはなくなるのか。</p> <p>→学校によってなくなる時期は異なりますが、将来的に全小中学校のプールは除却し、校外式のプールの授業を予定しています。屋内プールで、年間を通して授業を実施できるようにになります。</p>
	<p>Q統合したら、先生は増えるのか。</p> <p>→学級数に応じて配置されるので、統合で増えることはありません。</p>
	<p>Q学校応援団として通学の見守りをやっているが、スクールバスでいくつかのバス停に集まるとなると、これまでの見守りは継続となるのか。</p> <p>→自宅からバス停までは徒歩であり、これまで通り子どもたちの見守りをお願いします。バス停の位置により通学路が変更になる可能性もあり、これからの具体的な検討の中で地域の方々にはご指導・ご協力をいただきたいと思います。</p>
	<p>Q同じクラスでも子どもたちの体操着が混在し、統一感がない。自分の子どもだけ、前の体操着というのも心配である。</p> <p>→今後地域の皆様に統合準備を進める了解を得て、統合に向けた検討が始まれば、学校名・校章等を決めていく中で、体操着についても決まっていくと思います。</p>
	<p>Q統合の検討の中で体操着が早く決まれば、統合前から着用することも可能なのか。そうすれば、統合前でも入学時には新しい体操着を購入して着られる。</p> <p>→新校の体操着が決まれば、業者との調整を経て、統合前に購入し着用することは可能となります。</p>
	<p>Q校舎はどうなるのか。</p> <p>→統合後の校舎については、活用方法を検討しますが、何も活用がなければ除却する予定です。</p>
	<p>Q避難所はどうなるのか。</p> <p>→台風19号を踏まえて、避難所について、これから整理・検討していきます。</p>
	<p>Q学校がなくなってから、学校敷地の樹木剪定等の管理はどうなるのか。</p> <p>→現在は教育委員会の所管ですが、市有施設としての市役所の所管が今後決定して、そこが管理していくことになります。</p>
	<p>Q自校式からセンター方式に変わるのか。子どもは給食を楽しみにしている。RWC2019開催を記念したメニューのようにイベント色があると良いと思う。</p> <p>→安心・安全(衛生管理、食物アレルギー対応、施設の老朽化対策)、公平性(全市的な食育の普及)、魅力ある給食(栄養バランス、地産地消、要望、保温性の高い食缶への対応)から、現在の自校式から新設する給食センターからの提供にするものです。地産地消も推進しながら魅力ある給食を提供したいと考えています。</p>
	<p>Q妻沼南小学校に統合して、妻沼南小学校になるのか。</p> <p>→男沼小学校と太田小学校と妻沼南小学校を統合して、妻沼南小学校の位置で、新しい学校として、2025年に開校する案を示しています。</p>
	<p>Q体操着がバラバラになってしまうのはどうか。自分の子どもだけ違って、前の体操着を着ているのを不安に感じる。</p> <p>→新校として設立する前に、学校名や校章、スクールバスの運行、PTA活動、学用品等いろいろなことを、学校、PTA、地域の皆様で決めていただくので、検討が早まれば新しい体操着について、統合前に購入・着用できるかもしれません。</p>
	<p>Q少人数から、大人数のクラスになっても先生の目は行き届くのか心配である。</p> <p>→少人数の長所として承知していますが、授業では、学力向上補助員を配置してケアしていく予定です。来年度から全面实施される小学校学習指導要領では、グループ学習で友達の考え方を理解し、コミュニケーション能力の向上や議論していくことを重視していることから、ある程度の規模での学習環境が要求される傾向にあります。</p>
	<p>Q妻沼南小学校の保護者も不安を感じていると思う。</p> <p>→はじめに学校が移転する太田小学校と男沼小学校の地域説明会、保護者との意見交換会を開催し、今後、妻沼南小学校の地域説明会を開催する予定です。妻沼南小学校の運営協議会では6月に説明しました。</p>

太田地域	<p>Q学童クラブはどうなるのか。</p> <p>→毎年度実施している希望調査により、希望人数を把握し、妻沼児童館内の妻沼南児童クラブで入室可能かどうか、又追加で設置できるかどうか、妻沼南小学校の空き教室の状況等を確認しながら対応していく予定です。</p>
	<p>○自校式の給食がセンター式に代わると、子どもたちが育てて収穫した野菜を調理して給食で食べられなくなるのが寂しい。</p> <p>→自校式や給食センターの施設の老朽化が進む中、安心安全な給食の提供のため、調理場の衛生管理やアレルギー対策を徹底するために、給食センターを建替え、管理の一元化を図り、自校式からセンター方式に替えていく予定です。センター方式では保温性の高い食缶を使用するため冷たい給食が配膳されることはありません。現状、センター方式の学校では、子どもが収穫した野菜は、学校で調理し、みんなで食べています。</p>
	<p>○始業時間の調整が必要と思う。</p>
	<p>○子どもたちの事前交流のほか、保護者の妻沼南小学校見学会も必要と思う。</p>
	<p>○センター方式の給食の試食会があったらよいと思う。</p>
	<p>○米飯給食の時に、ご飯の持参がない方がよい。</p>
	<p>○小学校の運動会に車で行けるように妻沼南小学校での駐車場の確保も考えてほしい。</p>
	<p>○子どもが多いところにバス停を設置するのか。スクールバスは小さいバスで、細かく回ってほしい。</p> <p>→これから統合に向けた関係者の検討の中で決めていくことになります。統合時の子どもの居住場所や安全な乗降場所で決定することになります。</p>
	<p>Qプールを除却するが、授業はどのように実施するのか。</p> <p>→校外方式で、市有施設のアクアピアや民間の屋内プールを利用して、バス等の移動時間も踏まえながら、時間割を調整して実施していく予定です。</p>
	<p>Q自校式の給食をセンター方式に替える理由は。</p> <p>→安心安全な給食を日々提供するのは、施設の老朽化やアレルギー対策を踏まえて、給食センターの新設に合わせて、現在の自校式をセンター方式に替えるものです。</p>
	<p>Q給食費はどうなるのか。調理員が減れば安くなるのか。</p> <p>→給食費には、人件費や設備費・光熱水費を含まれず、材料費のみとなっています。妻沼地区の場合、ご飯の持参次第で変更となるかもしれません。</p>
	<p>Q新給食センターでの調理員の管理はどうなるのか。</p> <p>→調理等を委託した場合は、調理委託業者の業務を把握・管理していきます。</p>
	<p>○温かい給食を提供してもらえることは分かった。</p>
	<p>○安心安全は給食センター化の理由にはならない。</p>

秦地域	○子どもの人数を見れば、小学校の統合も仕方ないと思う。 →今後の子どもの人数を踏まえると、子どもの教育環境を整えなければと統合案を示しました。
	Q小学校の統合により、公民館活動はどうなるのか。 →当面秦公民館の建物は存続し、公民館活動はこれまでどおり継続していただきたいと考えています。
	○自分が通っている学校がなくなることを心配している子どもにも、統合についてうまく伝えてほしい。 →方向性が決まれば、子どもたちに説明していきます。
	○秦小と長井小の統合の際、子どもたちのクラス編成を考慮してほしい。 →クラス編成について御心配される声があることは認識していますので、今後検討してまいります。
	○小学校の統合について、正確な情報を把握している人が少ないと思う。 →周知方法を検討します。機会がありましたら、お近く又はお知り合いの方々には、正確な情報を伝えてください。
	○教育の質の確保が必要と認識している。
	○秦小学校の子どもはスクールバスで通学するというが、長井小学校で遠くから通学している地区からもスクールバスの要望があるかもしれない。
	○数か所のバス停の設置に係る地域住民のスクールガードは継続していく必要があると思う。
	○地域活動の運営方法を検討する必要がある。
	○子どもには郷土教育が必要と思う。
	○長井地区の住民も小学校の統合について気にしている。 →今後、長井小学校の地域説明会を開催する予定です。
	○北河原小学校(行田市)の統合は破綻になったと聞いているが、北河原小学校はとても少人数である。 →平成30年のデータでは、北河原小学校は全校で32人とのことでした。
	○給食は、一元化する方が良い。
	○給食について、食品を扱うのだから、衛生管理は最重要と認識している。